



制作
長野県高等学校文化連盟
新聞専門部

第3号



担当：長野高校新聞部 西原 颯人、池田寛子、小田切結杏、
刀根川侑哉、三ツ井晴南

新聞作り技術講習会 経験を糧に今後の活動へ



生徒たちは集中して作業に取り組んでいた。作業が始まっていくに配置を決定する班は少なく、2人で話し合いが納得してから作業を進める場面が多く見られた。しかし、締め切

午後には各校の生徒が紙面制作のワークショップに参加した。WS用の記事や写真を使って他校の生徒が2人1組で紙面をレイアウトするものだ。

2人で協力 良い新聞に

実践講座② 紙面制作ワークショップ

県内高校新聞部などの生徒を対象とした「新聞作り技術講習会」が6月25日、信濃毎日新聞長野本社で開かれた。講習会には新聞部や新聞班、新聞委員会などの生徒が集まった。新聞作りの基本を学んだ後、実践講座では対面取材や紙面レイアウトを体験。新聞制作現場を見学し、最後に整理部デスクから各校が発行した新聞への講評があった。各校のこれからの活動への良い経験となった。

作業が始まっていくに配置を決定する班は少なく、2人で話し合いが納得してから作業を進める場面が多く見られた。しかし、締め切りが迫ると今までの穏やかさが一変。紙面を埋めようと急ぐ班がほとんどだった。完成後、信毎整理部デスクの田中大輔さんに各班の新聞を細部に渡って講評してもらった。制作した本人以外も新聞作りに役立つ助言を共有した。

長野高校の高野篤郎さんと屋代高校の原田航さんが制作した新聞が、最優秀賞に選ばれ表彰された。

基礎講座

5W1Hを活用して

午前の部の前半は、信毎記者の市川朝教さんから新聞の基本技術について教わった。講座は資料に沿って行われた。「新聞記事の特徴」「新聞記事をどう書くか」「写真について」の順で進んだ。「新聞記事の特徴」「新聞記事をどう書くか」では、記事の理想的な構成や固有名詞を使う際の注意、5W1Hの使い方を学習した。「写真について」では、見出しの近くに写真を配置することでより記事が

実践講座① 対面取材

相手の話を引き出す



初対面の相手でも和やかな空気が漂った。その後、2人の生徒が執筆した記事を発表した。発表からは、たわいのないことやあまり気にとめないことも盛り込んで執筆することで、より機知に富んだ記事になることなどを学んだ。

基礎講座が終了した後、他校の生徒2人で対面取材を行い、その内容を元に記事を執筆した。対面取材では高校生活についてや班活動、自分が力をいれていることなどを相手に質問した。取材を通し取材対象者の言葉から繋げて質問することによって、より多くの情報を引き出している姿が見られた。



見出しの重要性を語る市川さん

読みやすくなることなどを学んだ。実際の新聞記者から本格的な指導を受けた各校の生徒は、満足した様子を見せていた。